

みさと 議会だより

No.
91
2026.6.1

■発行：秋田県美郷町議会

■編集：議会広報常任委員会

議会トップページへ▶



シリーズ/
ムチューデント
美郷中
Vol.26

力を合わせて作品制作 美術部

私たち美郷中美術部は、4月に1年生の新入部員を迎え、現在約30人で活動しています。主な活動は、コンクールへの出品、学校の活動に関わる生徒会テーマ看板などの制作です。

美術部には、「学年の壁をなくし、美術の技術を高め、誰もが楽しめる部活にしよう」という目標があります。この目標が形になるのは、なんといっても、生徒会テーマ看板と総体応援垂れ幕の制作の時です。部員同士でアイデアを出し合い、仕事を分担したり教え合ったり、気合いの入った活動になります。どちらも6月に今年度版にリニューアルします。ぜひ、美郷町のみなさまにも見てほしいです。

目標を大切に、これからも楽しく、お互いに技術を学んだり高めたりしていけるように頑張ります。

部長 藤谷 怜那

ムチューデントの 撮影者 (六郷高校写真部)

まきの ゆりあ
左：3年 時野 由里亜
いがらし まお
中：3年 五十嵐 麻央
たみ りゅうせい
右：2年 田味 流静



議会のうごき



4月23日の臨時会では、地域おこし協力隊に関する補正予算と条例改正などを審議し、可決しました。

5月25日には、美郷町議会議員なり手不足対策検討会が開かれ、定数割れの要因等について意見交換しました。

総務産業・教育民生常任委員会は、それぞれ所管事務調査を実施し、鳥獣被害対策の取り組みやICTを活用した授業などを調査しました。

広報常任委員会の視察研修では「議会ブース設置による広報活動」について学びました。

臨時会 (4月23日)

商工観光

予算

地域おこし協力隊の事業費を可決

令和8年度一般会計に844万円を追加し、総額を119億4652万円としました。

新規の地域おこし協力隊2名の雇用に必要な経費として、報酬(509万円)、住宅支援金(59万円)、車両借上料(84万円)などが計上されました。

2名はラベンダー園に「ガーデンスタッフ」として5月より勤務しています。

その他の議案等 (主なものを抜粋)

条例

- ・美郷町税条例の一部改正
- ・美郷町国民健康保険税条例の一部改正

契約

- ・美郷町子ども子育て支援拠点施設整備事業新築工事(外構工事)
- ・歴史民俗資料館・屋内スポーツ館屋根防水改修工事



松尾 晴之さん

森 幹雄さん

これまでラベンダーの栽培に携わって来られた方々の知識や技術を学び、継承していきたいです。

美郷町のさまざまな魅力に関心を持ってもらえるように情報発信していこうと思います。(松尾)

ラベンダー栽培にかける皆さんの努力と情熱を知り、自分も携わりたいと思いました。

しっかりと栽培技術を学び、自分の育てた花が、見る人の心を癒すことができればうれしいです。(森)

総務産業 常任委員会

暮らし・環境

農業

調査

クマの出没が急増、被害対策すすむ

令和7年度はクマの出没が急増し、地域住民の安全確保や農業への影響が大きな課題となりました。鳥獣被害対策実施隊として活動する猟友会の出動回数も、前年度の2.3倍以上に増加しています。

	獣種	出没通報	捕獲頭数	農業被害	被害額	人身被害
令和7年度の被害状況	クマ	235件	111頭	7件	20万2000円	4人
	イノシシ	5件	15頭	1件	9000円	-
	シカ	2件	8頭	-	-	-

捕獲頭数：主に「おり」「わな」での捕獲

主な課題と取り組み

課題	取り組み
クマの出没件数が大幅に増加	集落とクマの生息域との間に緩衝帯を計画的に整備 電気柵の設置が進み、一定の効果を確認
猟友会の出動回数が急増	鳥獣被害対策実施隊の出動に伴う報酬等の見直し



畑に設置した電気柵

【所管事務調査】
4月24日

委員からは「**赤外線センサーを搭載したドローンを最大限活用するべきで**は」「**電気柵の設置希望者を募って支援してほしい**」などの意見が出ました。

【所管事務調査】
4月24日

調査 上水道の水源には全地区で地下水を利用

本町の上水道は、黒沢、千畑中央・暁、千畑東部、六郷・畑屋、仙南中央、仙南東部の6地区により構成されており、地区内人口比加入率は全体で81.7%となっています。

水源には黒沢、暁、六郷・畑屋、仙南中央、仙南東部が地下水を利用し、千畑中央と千畑東部は表流水（川）と地下水の併用となっています。

浄水方式は、**塩素消毒のほか、膜ろ過や紫外線処理など、各地区ごとに最適な技術で安全・良質な水を供給**しています。

上水道のない六郷中心部の最低地下水位は、近年4・5月にずれてきているものの、山からの水量は減っていない状況です。

委員からは「水道加入率が低いので、引き続き、未加入者の加入促進に取り組んでほしい」などの意見が出ました。



紫外線処理（仙南中央浄水場）



膜ろ過（黒沢浄水場）

【所管事務調査】
2月17日

調査 ICT活用で変わる学びの形と授業風景

小中学校に配備されたタブレットや電子黒板により、授業風景は大きな変化を遂げています。

タブレット・電子黒板の整備状況 令和8年1月現在

	六郷小	千畑小	仙南小	美郷中	合計
学習用タブレット	224	223	231	380	1,058
指導用タブレット	24	21	23	33	101
電子黒板	13	14	11	20	58

授業では、児童がタブレットを自在に操り、主体的に学ぶ姿が印象的でした。デジタル空間上のグループで意見を出し合うなど、ICTならではの共同学習が展開されています。こうした活用は、教員と児童の心理的な距離を縮め、きめ細やかな指導を可能にしていました。

一方で、机上スペースの不足という新たな課題も浮き彫りになりました。委員からは「**天板の拡張パーツの設置や機の複数利用など、スペースを確保する手立てを講じてほしい**」などの意見が出ました。



授業の様子（六郷小学校）



通級指導教室とは
小学校、中学校の通常学級に在籍しながら、支援を必要とする児童生徒が、週に数時間、別の教室で個別の支援・指導を受ける教育の形態。

【所管事務調査】
2月17日

調査

特別支援教育、今後も手厚い支援を

本町は、生徒一人ひとりの特性に応じた、多様性を認め合う教育環境づくりに取り組んでいます。

支援の要否には国や県による判断基準がないため、就学時健診や専門家の意見、保護者の意向を総合し、町独自の判断で柔軟に対応しています。

特別支援学級の児童は、国語・算数以外の教科（生活・社会・理科等）では、支援員のサポートのもと、通常学級で学習しています。支援員は、支援が必要な児童生徒の数などを踏まえて、手厚く配置しています。

通級指導教室は六郷小学校に設置されており、千畑小・仙南小からも児童が通い、指導を受けています。

同じ教室で学ぶことにより児童の意欲が向上し、互いを認め合う土壌が育っていることを確認しました。

委員からは「**きめ細やかな配慮と手厚い支援を今後も維持してほしい**」「共生社会の実現に向けて、多様性を学ぶ体制を継続してほしい」などの意見が出ました。



六郷小学校で意見交換



研修 イベントに議会ブース設置、広報活動に新工夫

陸前高田市議会は、毎年秋の「陸前高田市産業まつり」に市議会ブースを出展しています。議会を身近に感じてもらう取り組みとして好評を得ており、令和7年度は2日間を通じて約130人がブースを訪れました。

最も人気のあったコーナーは、選挙看板風の顔出しパネルです。自分の選挙ポスターができるとあって、子どもたちは大喜び。親子で記念撮影を楽しむ姿が多く見られました。議会の活動を説明し、議員とお茶を飲みながら話せるコーナーも設けられました。

子どもから高齢者まで**多くの人々が集まるイベントは、議会と接点の少ない人にもアプローチしやすく、議会だよりとは異なる広報活動の場になる**ことが分かりました。広報活動には工夫が必要だと、改めて感じた研修でした。

産業まつり「市議会ブース」の様子

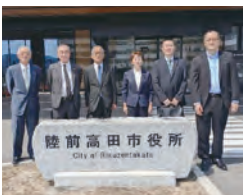


気になる生活課題をシールで投票



選挙看板風の顔出しパネル

【岩手県陸前高田市】



5月13日



なり手不足対策検討会委員12名決まる

令和8年4月1日から「美郷町議会議員なり手不足対策検討会」町民委員の募集を行いました。応募の中から申込理由、男女比率、年齢比率、地域間バランスなどを考慮のうえ6名を選定し、5月25日に議長が委嘱しました。

町民委員と議会選出委員を合わせた12名で、議会・議員のあり方や課題などについて検討を進めていきます。

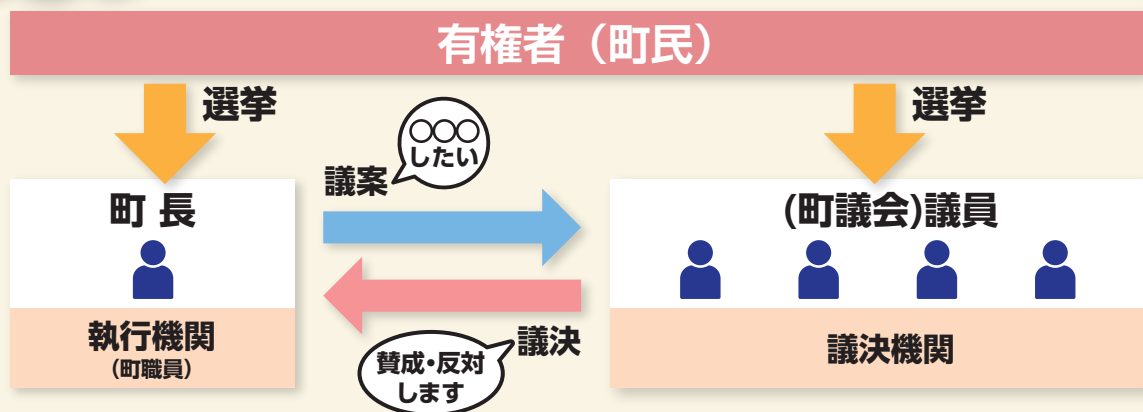
検討会委員 ※敬称略

町民委員	議会選出委員
・高橋 準	・澁谷 俊二
・鶴谷 紗基子	・鈴木 正洋
・戸澤 芙未子	・高橋 純
・藤岡 めぐみ	・長谷川 幸子
・三輪 大樹	・深澤 均
・山代 丞	・深沢 義一

回数	開催日	テーマ
第1回	5月25日	町民から見た議会のイメージ 定数割れの要因
第2回	6月18日	議員、議会活動への期待 今後の取り組み
第3回	7月16日	若者、女性の議会参加への環境づくり 定数と報酬
第4回	8月6日	将来的な議会のあり方 話し合いのまとめ



地方議会は、首長と議員が有権者から直接選挙で選ばれる「二元代表制」を採用しています。これは「議院内閣制」を採る国会とは、大きく異なる仕組みです。



町のことは全て町長が決めている？

町長には政策に関する提案権はありますが、最終的な決定を下すのは議会です。町長は予算等の議案を提出し、議会がその是非を判断する仕組みになっています。

町議会は町長の部下？

「町長が上、町議会は下」ではなく、両者は対等で独立した機関として、それぞれ「執行」と「議決」という異なる役割を担っています。議会は、町長と執行機関の活動が適切に行われているかを監視する役割も果たしています。

▶ 議会の録画配信を始めます!

議会を広く町民に公開し、身近なものとするため、インターネットによる本会議の録画配信を始めます。

美郷町議会のホームページから、本会議の様子を録画映像でご覧いただけます。

▶ 配信方法：YouTube

▶ 配信形態：録画配信

▶ 配信範囲：本会議のみ

▶ 配信開始時期：令和8年6月定例会から



傍聴される方へ

議場席の様子が映像に一部映り込む場合があります。その際、映り込んだ顔や服装等を通じて特定の個人を識別することができる可能性があります。

お話を聞かせて
ください

美郷町議会では、みなさんの声を今後の議会活動の参考にさせていただくため、意見交換会を行う団体・自治会・グループ等を随時募集しています。みなさんからの申し込みをお待ちしております。

対象者

町内に在住、通勤、通学する方（団体・自治会・グループ等）

意見交換の内容

申込書に記載された町政や町議会に関するテーマで意見交換を行います。

開催日時及び場所

申込書に記載された希望日時及び場所について、申し込みされる方と調整のうえ決定します。

参加議員

提出していただいたテーマに応じ、数人の議員が参加します。

応募方法

「議会との意見交換会申込書」に必要事項を記載のうえ、美郷町議会事務局へお申し込みください。郵送、FAX、Eメール、お持ちいただく等いずれかの方法でお願いします。

※「議会との意見交換会申込書」の様式は、美郷町議会のホームページからダウンロード、または議会事務局までお問い合わせください。



CN:2344

【住所】〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170-10

【電話】0187-84-4912

【FAX】0187-85-3102

【Eメール】gikai@town.misato.akita.jp

議会定例会 傍聴にお越しくささい

議会の傍聴は、町議会の活動を知る身近な方法です。住所、氏名を記入するだけでどなたでも傍聴することができますので、お気軽にお越しくささい。

会期

6月1日(月) から10日(水)

美郷町役場 2階 議場



日時	会議等の内容
6月1日(月) 午前10時	議長の諸般の報告 町長の招集あいさつ 議案等審議 請願・陳情上程(委員会付託) 議案等審議(説明・質疑・討論・表決) 議案等上程(説明)
6月9日(火) 午前10時	一般質問
6月10日(水) 午前10時	議案等審議(質疑・討論・表決) 付託議案審議 (委員長報告・質疑・討論・表決)

活動記録

- 4/21 議会運営委員会
- 4/23 臨時会
議会活性化検討会
- 4/24 総務産業常任委員会 (所管事務調査)
- 4/30 議会広報常任委員会
- 5/11 議会広報常任委員会
- 5/13 議会広報常任委員会 (視察研修)
- 5/22 教育民生常任委員会
- 5/25 議会運営委員会
美郷町議会議員なり手不足対策検討会